笹の墓標 再生ニュース

第二号　2020年5月1日発行

こんにちは。笹の墓標展示館 再生実行委員会です。

北海道、朱鞠内の**旧・光顕寺**は戦中の強制労働による死者を弔いその位牌を安置してきました。 その後**笹の墓標展示館**となり、日本でもほとんど唯一の戦争と植民地支配の歴史を伝える展示館として東アジアの人々の出会いと共同の学びの場をつくってきました。2019年、建物倒壊のおそれのため再建をめざす実行委員会を発足しました。このニュースレターではみなさまに再生のための活動やその他の情報を定期的にお伝えしていきます。どうぞよろしくお願いします！

募金総額1,000万円を超える 開始から2か月

笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る支援募金のよびかけパンフレットが1月20日前後、約3000名の皆さんに届きました。

その直後から今日まで、ほぼ毎日途切れることなく郵便振替通知書が事務局に配達されてきます。

募金は昨年後半から自主的に送られてきましたが、よびかけパンフレットを作成し、本格的に募金を始めてから2ヶ月ほど経った3月14日、ついに1,000万円を越えました。

4月末現在では約700名の方々から募金をいただき1,100万円に達しました。

募金は日本全国にとどまらず、韓国、ドイツ、オーストラリア、アメリカなどからも寄せられており、中には1度だけでなく展示館の再生まで毎月の寄付を申し出てくださった方もおられるなど、支援の輪が大きく広がっております。

募金目標は3,000万円ですので、まだ3分の1に達したばかりです。今後はクラウドファウンディングなどを立ち上げ、さらに広範囲に寄付を募っていくつもりです。皆さま引き続きご支援、ご協力をお願いします。

募金と共に届いたメッセージをいくつかご紹介します。

「ささやかですが和解と平和のために役立てて下さい！みなさんの努力に拍手を送ります。」

「貴重な施設が末永く伝えられることを願います。」

「日本人として負の歴史もしっかり受けとめていきたいと思います。」

「些少ですが、日本人の過去の行為に対する償いです。」

「こんな形ですが、少しでもお手伝いできることうれしいです。」

「過去の出来事を風化させない様、立派な展示館の再生を祈っております。」

「歴史の真実を伝え続けて下さい。」

「国内にこのような展示館が存在していたことに驚き、また頭が下がりました。展示館再生の暁には訪れてみようと思います。」

第2次よびかけ人 82名追加 総勢190名に

募金開始に先立ち、広く募金を呼びかけるために、多くの方に募金の呼びかけ人をお願いしてきました。実行委員会からお願いした方もいますが、活動を知り自ら申し出て下さった方も少なくありません。パンフレットの第1版印刷の時点では（2019年12月1日）108名が呼びかけ人にご就任くださいました。呼びかけ人の中には1,000部、2,000部のパンフレットを自らの活動などで配布してくださった方もおり、第1次印刷分の1万3,000部が底を着きました。

パンフレットの更新に伴い、更に呼びかけ人を募集し、新たに82名の方々が呼びかけ人にご就任くださりました。

パンフレット第2版には総勢190名の呼びかけ人が掲載され、だいぶ文字も小さくなりお名前を探すのも大変になりました。

現在、全世界的に新型コロナウイルスの影響で活動などを行いにくい状況ではございますが、呼びかけ人の皆さまならびに、ご支援くださっている多くの皆さまに第2版の印刷分を再度送付いたしますので、広く宣伝をお願いいたします。また多部数をご要望される方は事務局までご連絡ください。

再生計画

目標金額	3000万円	
金額使用内訳	笹の墓標展示館再生	2,300万円
	和解と平和の森整備	300万円
	旧光顕寺庫裏の改修	300万円
	広報・事務・活動費	100万円
完成目標時期	2022年秋	

再生計画にむけての願い

❶ 新たな展示館の建物を建築したい。
❷ 新たな建物には犠牲者の遺骨と位牌など死者を追悼し顕彰する場を設けたい。
❸ 朱鞠内の強制労働の歴史をはじめ、日本各地の強制労働の歴史を展示できるようにしたい。
❹ 東アジアの人々が交流し、語り合い、国境を越えた出会いが続けられる場でありたい。
❺ 境内地に和解と平和の願う記念碑、彫像などを建立し、東アジアの平和を発信する拠点にしたい。

発行　笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る実行委員会　共同代表　殿平善彦　田中富士夫
074-0141 北海道深川市多度志630番地 一乗寺気付　電話 0164-27-2359　FAX 0164-27-2890　Email info@sasanobohyo.com
https://sasanobohyo.com

第4回実行委員会を開催しました

2020 年 2 月 22 日、笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る第 4 回実行委員会が開催されました。会場は朱鞠内旧光顕寺庫裏です。

参加者は 20 人。札幌や紋別からも来てくれました。

議題 1 これまでの経緯・活動報告

① 本堂（笹の墓標展示館）が 1 月 23 日午後 2 時、ついに完全倒壊に至った。

② 深川市喫茶ふれっぷで「笹の墓標・強制労働史料展」が開催された。1 月 15 日～ 31 日まで。展示館におかれてきた犠牲者の位牌、遺族にお返ししたご遺骨が納められてきた骨箱も展示された。期間中多くの人が訪れ、展示された写真に見入っていた。

議題 2 募金の状況報告

2 月中旬までに 500 件に至る募金があり 800 万円を超えた。今後、更に募金をお願いする必要がある。

意見・クラウドファンディングを考えるべきだ。

- NHKラジオ深夜便を活用してはどうか
- 巡回展を全国展開しよう
- 巡回展のための映像を作成する、シナリオが必要
- 笹の墓標展示館の名称では知らない人にはわかりにくい。名称を考えてはどうか

議題 3 今後の計画（翌日の東アジア市民ネットワーク総会の論議も入れて報告します）

・倒壊した本堂の後片付け

5 月 16 日（土）～ 17 日（日）　第 1 回片付け
5 月 23 日（土）～ 24 日（日）　第 2 回片付け

本堂の解体を参加者を呼びかけてボランティアで行おう。

・夏のワークショップ計画「朱鞠内の未来を創造するWS」

日程 8 月 20 日～ 23 日あたりを予定。確定次第お知らせします。

場所 朱鞠内 まどかの家・庫裏・天塩弥生など

新たな朱鞠内フィールドワークを計画します。様々なゲストをお招きして、皆さんと共に今後の資料館再生と和解と平和の森を構想するWSにしましょう。

（コロナ禍の影響で、上記の計画の変更を余儀なくされています。今後の新たな方針を決定次第、事務局からお伝えする予定です。）

「支援募金のよびかけ」パンフレット第2版が完成しました。

今年 1 月から皆さんにお届けしてきたパンフレットに新たな情報を加えさらに多くの方々にお届けするため、第 2 版を作成しました。第 2 次の呼びかけ人（82 名）のお名前も掲載させていただきました。4 月下旬には発送予定です。できるだけ多くの方々に届けたいので、ぜひ必要部数を事務局に申し出てください。

沖縄遺骨発掘の報告

2 月 8 日から 12 日まで沖縄県本部町にて沖縄戦で犠牲になった彦山丸の乗組員 14 名（うち朝鮮人 2 名）の遺骨発掘が行われました。沖縄、北海道をはじめ、韓国・台湾・在日コリアンの若者たちが発掘に参加しました。残念ながら遺骨は発見されませんでしたが、沖縄戦遺骨収集ボランティ「ガマフヤー」の具志堅隆松さんは、「戦争時、支配する側とされる側の関係にあった地の若者がともに遺骨を探す意味は大きい」と今回の遺骨発掘の意義を語られました。若者たちはワークショップさながら発掘と懇親会を通じ信頼関係を深めていきました。

笹の墓標再生のための短編動画

ドキュメンタリー映画制作の「森の映画社」が募金を訴える短編動画を作成します。藤本幸久監督が 2 月の実行委員会に参加し、笹の墓標展示館再生への募金をよびかける短編の動画を作成することを申し出てくださいました。森の映画社は沖縄米軍基地や原発問題に関するドキュメンタリー映画制作でダイナミックな活躍をされていますが、朱鞠内や各地での遺骨発掘の集いなどにも長年参加者として関わり、ともに歩み続けている仲間です。2013 年には 9 時間にも及ぶ長編ドキュメンタリー「笹の墓標」を制作しました。ご期待ください。

SNS での応援を！

フェイスブック、インスタグラムにて近況をお知らせしています。あなたの応援の声を広げてください。

Facebook: 笹の墓標展示館 @sasanobohyomuseum

Instagram: @sasanobohyo_museum

発行　笹の墓標展示館再生・和解と平和の森を創る実行委員会　共同代表　殿平善彦　田中富士夫
074-0141 北海道深川市多度志 630 番地 一乗寺気付　電話 0164-27-2359　FAX 0164-27-2890　Email info@sasanobohyo.com
https://sasanobohyo.com